

施策番号	443	施策名	交通安全・生活安全対策の推進	令和3年度主管課名	くらし安全課
総合計画体系	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	令和3年度課長名	小原 克則
	関係課名			シート作成者	可児 勉

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	7年度
ア 町民	→	ア	人口	人	見込値			11,970	11,800	11,280
					実績値	12,754	12,625	12,497		
イ	→	イ			見込値					
					実績値					
ウ	→	ウ			見込値					
					実績値					
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	7年度
ア 交通事故から身を守る	→	ア	町内の交通事故発生件数	件	目標値	25	20	15	14	11
					実績値	17	7	11		
					達成率	147.1%	285.7%	136.4%	127.3%	100.0%
イ	→	イ	町内の交通違反件数(三悪件数無免許、飲酒、悪質な速度超過)	件	目標値	32	30	17	16	13
					実績値	19	10	18		
					達成率	168.4%	300.0%	94.4%	88.9%	72.2%
ウ 犯罪による被害から守る	→	ウ	町内の犯罪発生件数	件	目標値	45	40	27	24	15
					実績値	21	19	22		
					達成率	214.3%	210.5%	122.7%	109.1%	68.2%
エ	→	エ	犯罪被害にあう不安を感じている町民の割合	%	目標値	45.0	45.0	37.0	36.5	35.0
					実績値	37.4	38.3	36.3		
					達成率	120.3%	117.5%	101.9%	100.6%	96.4%
⑤ 成果指標設定の考え方	住民や町内道路利用者等が交通事故から身を守り犯罪による被害に遭わないことを意図しているため、交通事故件数、交通違反件数、犯罪発生件数(刑法犯認知件数)及び生活安全上不安を感じている町民の割合を成果指標とした。			⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	ア・イ・ウ 津山警察署統計データ エ 町民アンケート					

2. 施策の役割分担

施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
	<ul style="list-style-type: none"> ○町民は、交通事故防止のため、法令講習会に積極的に参加するとともに、各種法令や交通マナーを遵守する。 ○町民は、犯罪にあわないように、自ら身の回りに気を付けて生活するよう努める。 ○地域・事業所等は、交通安全活動、防犯活動を行うとともに犯罪を起ささない環境づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故防止、犯罪防止の啓発活動を行う。 ○交通及び防犯関係協力団体の育成・強化・支援を行う。 ○交通安全施設(カーブミラー等)及び防犯対策設備(防犯灯等)の整備を行う。

3. 評価結果

3年度 の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景・要因	
	① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る
	交通事故件数は11件と増加したが目標値は達成した。 交通三悪は増加し目標を達成できなかった。コロナ禍で啓発機会が減少したなどが推測される。 犯罪発生件数は22件で増加したが目標値は達成した。増加は万引件数増によるもので、万引防止キャンペーンを実施していく。 犯罪被害に遭う不安を感じている町民の割合は減少し目標値を達成した。	
	② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した
	過去3年間の事故発生件数は人口1万人あたりの件数として岡山県内では高い水準(少ない)にある。 犯罪に遭う不安を感じている人の割合は過去3年間減少が続いている。町内での特殊詐欺被害の申告はなかったが、手口は年々悪質巧妙化していることから、常に新たな手口に関する啓発を行っていく必要がある。	
	③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い水準 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	人口1万人当たりの交通事故発生率は9.19%で岡山県で最も少ない値となっている。近隣市町村との比較でも、津山市21.07%、美咲町20.79%、勝央町13.09%、久米南町22.41%と比較しても低い値となっている。道路交通環境の整備促進、交通安全施設の充実によるものと推測される。 人口千人あたりの、犯罪率は1.7%で、津山市3.5%と比較して半数以下の値となっている。	
	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など	
	昨今の高齢者の交通事故は増加しており、自動車急発進抑制装置補助金に関して多数問い合わせがある。	
	3. 施策の振り返りと総括(3年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)	
① 施策の成果向上につながった主な事務事業	自動車急発進抑制装置設置補助金、防犯灯設置補助金、特殊詐欺等防止機器購入補助	
② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業	安全・安心まちづくり事業	
③ 施策全体の振り返りと総括		
交通安全施設(カーブミラー等)については、前年同様区長申請を受けて設置箇所を調査し設置を行った。また、ブレーキの踏み間違いを防止する自動車急発進抑制装置設置補助金事業を行った。 防犯対策については、防犯灯設置補助金の活用による防犯灯の設置、特殊詐欺被害を防止するため防犯機能付き電話機の購入補助金交付事業を行った。		
4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)		
① 今後施策の成果向上につながる主な事務事業	安全・安心まちづくり事業	
② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向		
交通安全対策については、交通事故件数は岡山県内でも高い水準(少ない)であるが、今後も高齢者及び小学生等への交通ルール・マナーの啓発が必要である。 防犯対策においても最近の手口等の情報収集を行い、広報紙や町ホームページ等を活用して、住民への情報提供を行う。 また、安全・安心まちづくりネットワーク等の地域組織を活用し、住民の自発的活動がなされるよう支援して行く。		